

# まず機敏に 何より個性を打ち出して

**吉田代** 今は日進月歩でなく秒進分歩の時代ですので、何事も働くことに機敏でないと対応していきけない気がします。それと、商売で同じやり方をしていては客はいなくなってしまう、自分の特徴あるものをカラーとして、企業も個人も出していかなばまずいのではないかと気がします。

**司会** スピードは大切ですね。  
**吉田(代)** 小野町には異業種交流会があり、会員は50社くらいで、常時30社が活動しています。私もその一員に入っています。

商品開発のとき、自力でオリジナルなものを考えていくのはむずかしいので、会の中でいろいろな人の話しを聞き、オリジナルな物、ブランド品を作っていけば、不景気



にも勝てる気がします。これからは人的ネットワーク、情報のネットワーク、交流がほんとうに大切になりますね。

**高橋** 地の利ということで言えば、小野町は浜通りから中通りへとつながる交通の要衝でもあり、将来的に黙っていても外から人が入ってくる。逆にこちらからも人が出て行きやすい。そういう活気のある地域になっていくのは間違いないので、条件が整っている中でそれをどう活かしていくかということになっていくと、町全体で二つのことに取り組んでいくことがまず大切ではないでしょうか。

それから農と商と工のネットワークをしつかりと確立させ、どんな相互に交流しあい、協力して、又、情報交換していくべきではないでしょうか？計画倒れにならないよう、計画を作つて動いていくことが大切でしょう。小野町の人は意外と、このまちの便利さに気づいていないんですよ。茨城とかいわきの人は「小野町ってこんなに近かったんだ」と感じているし、郡山の人もそうだと思います。しかし、逆に小野町の人は遠く感じている。まず、これに早く気づき、どんどん動くべきだと思います。

**吉田(政)** 本業はプロ意識をもつて取り組んでいくにはもちろん

ですが、花いっぱい運動なんかをやつてみたいと思います。浮金地区では、沿道に花を植えて、その運動の模範となっており、サルビアからマリーゴールドがきれいに咲いています。

私達もまず、浮金地区の真似をして、田村郡内の仲間と共に小野町に今年もマリーゴールドを5万本植栽したいと思っています。

田んぼも減反している所を荒しておかないで、きれいな田んぼに見えるよう美しい町づくりに取り組んでいきたいと思っています。

いろいろな外部の情報など意見があつたら私達に寄せてもらつて協力してもらえればと思います。それから農作業するにしても、ファッションブルなプロ意識を持つて、やつていきますので中心商店街の方にいいアドバイスをいただければと思っています。

全く新しい事を始めようとする、なにかとむずかしい点が多いので、いいところを視察してきて取り入れていくようにしたいと考えています。

**司会** 模倣から始めてみてはいかがでしょうか？

**吉田(政)** そういう繰り返しをつみかさね、いつかは小野町ブランドの農作物をつくりあげていきたいと思っています。

**先崎** 売りこむのは私たちにまかせなさい(笑)。一日も早く、そう言いたいですね。宮崎県の綾町などを見ると農業と商工業がみごと

とに手を結んでいます。羨ましいと思いますね。

**福田** 酪農というと堆肥のイメージがあり、「汚い」とか「ぎつい」、「臭い」というイメージを払拭しよう、仲間が協力して考えて、できるだけきれいなイメージにしよう、花いっぱい運動も含めて、建物も白く塗り、白づくめにしたんです。

観光に来る人たちには地元のもの、家庭料理でもてなして、小野町の隅から隅まで見てもらいたいと思っています。

最後に堆肥の問題ですが、早く発酵して匂いがかからない堆肥を作ろうと、商品化を試みていますが、生ごみ、堆肥をリサイクルするシステムづくりにぜひ、町の援助をいただければと思います。

**町長** 一緒に取り組んで行きましょう。

**吉田(政)** 地元の商店街も地域に密着した宣伝をどんどんしていくべきではないかと思っています。それと農業も同じですが、まず自立を考えていく。国だ、町だという前に、自分ができることは何か、つきつめていかないと、かんじんなところで、道をまちがえるような気がします。たとえば、農業であればより新鮮なもの、安全なものを食卓で安心して食べてもらう——これが、基本ですからね。

**先崎** 商業も同じです。商売とは何か、個店でできることをきつ

ちりやつているか、商店街というエリア全体がまとまっているのか、もう一度元氣を出して、がんばらなければと思います。

**佐藤** 商店街がすたれると、町がすたれる……そんなことにならないよう、小野町あきんど、元氣で行こう！

**吉田(代)** まさに、境界のない社会をどう乗り切つていくか、総合的に考えて、足元をしっかりと見ている行動しようというのが地方に生きる私たちの指針だと思います。

**高橋** 繰り返しになりますが、「早く気づいて、どんどん動く」これを徹底したいと思っています。

**司会** 最後に町長からまとめをお願いします。

**町長** 大変活発で素晴らしい意見をありがとうございました。町としてもやはり、商店街はお店の人とお客様が楽しくふれあえるような環境づくりを心掛け、そして農業、工業、商業のバランスのとれたまちづくりを心掛けていきたいと思っています。みなさんこれからどうぞ協力し合いながら、理想とする小野町像の実現に向けて頑張つていきましょう。

**司会** 農業、工業、商業のバランスのとれたまちづくりを目指して、みなさんの努力ももちろんですが、町も大いにバックアップして、21世紀にはますます元氣で明るい「笑顔とがんばりのまち」小野町であり続けることを期待いたします。